

教材名

「いちばんうれしいこと」【出典:「3年 生きる力」日本文教出版】

主題名:思いやり【B-6 親切, 思いやり】

- 1 日時 令和6年11月1日(金) 5校時目
- 2 学年 第3学年 3名 第4学年 5名 計8名
- 3 ねらい 「人がいちばんうれしいのは、人をよこばせること」という思いから、相手を思いやるキャラクターを描き続けてきた、やなせたかしさんの思いを考えることを通して、相手の気持ちに心を配り思いやることの大切さに気づき、困っている人や悲しい思いに寄り添い、思いやりの心をもって自分ができることをしていこうとする道徳的心情を培う。

4 主題設定の理由

教材観

第3学年及び第4学年の指導内容B-(6)「相手のことを思いやり、進んで親切にすること」をもとに設定した。

この時期の児童は、相手の気持ちを理解することができるようになるが、夢中になると、他の人の気持ちを考えない行動をしてしまうことがある。また他の人々の感じ方や考え方が自分と同様であると思込み、自分が楽しければみんなも楽しいだろうと感じる児童もいる。そのため、自己と他者は思いやり立場が違うことを理解させることも重要である。その上で、相手のおかれている状況や悲しい思いなどを、自分のこととして想像し相手のことを考え、親切な行為を自ら進んで行うことが大切であると考え

「人が一番うれしいことは、大げさなことではなく、目の前の困っている人に自分のできることを行い、喜ばせることだ。」というやなせたかしの思いを通して、本当の思いやりについて考えさせていきたい。

児童観

指導観

指導に当たっては、まず、教材名でもある「一番うれしいこと」を活用し、自分にとって一番うれしいことは何かを問うことで、「自分」が嬉しいことが一番嬉しいと感じていることをおさえ、他者を意識した思いやりの道徳的価値への動機づけをさせたい。また、やなせたかし氏の紹介をし、よく知っているアンパンマンの作者であることを伝え、教材への動機づけもしていきたい。

展開では、人を思いやる気持ちが一番大切だという思いにたどり着いた柳瀬さんの思いを考えさせたい。次に、絵本「あんぱんまん」のアンパンマンのマントがボロボロなことに注目させ、思いやりは大きなことではなく自分にできることをすることだと気付かせていきたい。

中心発問では、なぜ「人を喜ばせることが、人がいちばんうれしいこと」なのか、ペアトークを通して考えさせていきたい。また、出た考えを自分の立場と相手の立場に分けて板書し、気持ちの重なりや思いやりが広がっていくことに気づくことができるよう、構造的な板書に取り組む。そして、これまで自分たちの学習や生活の中で、人を喜ばせることで自分が嬉しくなった体験を想起させることで、思いやりの心について内省化を図りたい。

終末では、導入で「一番嬉しいこと」が自分のことに終始していたことを振り返り、「アンパンマンのマーチ」の歌詞を提示して問いかけ、これからの生き方につなげさせていきたい。

5 本時の展開

(1) 評価について

【評価の観点】相手の気持ちを考えて、思いやりの気持ちをもって接していこうとする思いに気付いているか。

思いやりの心をもって自分にできることをしていこうとする道徳的心情をもっているか。

【評価の方法】発言・道徳ノート

(2) 準備物

挿絵・掲示用「アンパンマンのマーチ」の歌詞

(3) 展開

	学習過程	主な発問と予想される児童の心の動き 【○基本発問 ◎中心発問】	指導上の留意点(○) 準備物など(●) 評価(★) 対話場面(△)
導 入	① 「学習テーマの提示」 1 本時の学習への興味や関心を高める。	○自分にとって一番うれしいことは、何でしょう。 【日常生活とのつながり】 ・おいしいものを食べているとき。 ・頑張って難しいことができたとき。 ・友達が優しくしてくれたとき。 ○やなせたかしさんを知っていますか。	○今の自分にとって一番嬉しいことは、自分が喜ぶことであることに気付かせ、道徳的価値への動機付けをさせる。 ○やなせたかし氏の紹介をし、教材内容への動機付けをする。
展 開	② 「追求活動」 2 教材「いちばんうれしいこと」の内容を知り、話し合う。 (1)戦中戦後とひもじい思いをしたやなせさんの気持ちを考える。 (2)アンパンマンのつぎはぎだらけのマントに込められた思いを考える。 (3)「人は人を喜ばせることが、一番うれしい」理由を考える。	○「一番うれしいこと」を読んで、話し合しましょう。 ○戦争中も戦争が終わってからもお腹をすかせていたやなせさんが、大切なのは一切れのパンを分け与えることだと気付いたのはどうしてでしょう。 ・自分と同じようにつらい思いをしている人に元気になってほしいと思ったから。 ・おなか为空いている人に食べ物をあげるとは、どんなときでも、どんな場所でも正しい行い(正義)だと心から思ったから。 ○アンパンマンのつぎはぎだらけでボロボロのマントには、どんな思いが込められているのでしょうか。 ・自分のマントはボロボロでも困っている人を助けたい。 ◎どうして「人は人を喜ばせることが、一番うれしい」ことなんだろう。 <u>自分</u> ・喜んでくれると自分も嬉しい。 ・同じ気持ちになる。 <u>相手</u> ・うれしい。ありがたい。 ・今度は自分が誰かのために何かしよう。	△ペアでの対話場面を設定する。 ○ペアで出した意見をまとめ、全体で確認する。 ○「お腹が空く」という場面をイメージさせることで、辛さや悲しさを共感させる。 ○イメージをもたせた上で、自分と同じ思いを他者がしていることに気付いたやなせたかし氏の思いを考えさせる。 ○人の苦しみと自分の苦しみを重ねているやなせたかし氏の思いに気付かせる。 ○自分にできることをしていこうとする思いが、マントに込められていることに気付かせる。 ○自己犠牲の考えに陥らないように、自分にできることをしていることを抑える。 ●道徳ノートに記述させる。 ○考えを自分の立場と相手の立場に分けて板書し、気持ちの重なりや思いやりが広がっていくことを視覚化させる。 ★相手の気持ちを考えて、思いやりの気持ちをもって接していこうとする思いに気付いている。

		<p>【補助発問】困っている人に何かしてあげて、その人が笑顔になったらどう思う。</p> <p>【問い返し】親切にしてもらったら、そのあと、どうする。</p>	<p>○相手が喜ぶと自分も嬉しくなることに気づかせる。</p> <p>○感謝の気持ちに気づかせ、思いやりが伝播していくことをとらえさせる。</p>
終末	<p>③ 「児童一人一人のふりかえり」</p> <p>3 本時の学習から自分たちの生活について振り返る。</p>	<p>○人に喜んでもらって嬉しかったことがありますか。</p> <p>・学習発表会の時に一生懸命練習して本番ではたくさんの人に喜んでもらって嬉しかった。</p> <p>・自分が作った料理を家族に食べてもらって嬉しかった。</p> <p>・友達にいいところを伝えたときに喜んでもらって嬉しかった。</p>	<p>○導入とつなげて思いやりの価値について考えさせ、内省化を図らせる。</p> <p>○振り返りの発表を板書に生かし、振り返りの交流を通して、価値を自分のこととして考えさせる。</p> <p>★思いやりの心をもって自分にできることをしていこうとする道徳的心情をもっている。</p>

6 板書計画

やなせさんが、「人は人を喜ばせることが、一番うれしい」と思ったのは、どうしてだろう。

十一月一日（金）
思いやり

○一番うれしいことは：
・プレゼント
・百点
・試合で活躍

②7 いちばんうれしいこと

やなせたかし氏の写真と紹介

現在のアンパンマンの画像

戦後の町に立つやなせさんの挿絵

ポロポロのマンパ姿の初期のアンパンマンの画像

・自分と同じようにつらい思いをしているのがわかったから。
・みんなにも元気になってほしい。

・早く何でもべいからたべたい。
・元気が出ない。

・自分のことはどうでもいいわけじゃない

アンパンマンのマーチ

そうだ！うれしんだ
えきむねのきざが
たんでものきざが
なんでものきざが
てなをため生
るのかをえら
やだ！そんなの
今を！生きるこ
あついきこも
だからきみは
だほえんでい
そうだ！うれし
えきむねのきざ
たんでものきざ

授業者の振り返り

①発問の検討（発問を絞り込んでいたか。問い返し発問が適切であったか。）

（成果）

○補助発問や切り返し発問を事前によく検討していたことにより、発問の際に児童の様子をよく観察し、待ち、対応を考える心の余裕が生まれ、児童の深い思考につながっていたように思う。

（課題）

●発問の一文が長いものがあり、発問の文を理解するのに時間がかかっている児童も見られた。

②対話場面の設定が有効であったか。

（成果）

○ペアでの対話場面を設定した発問は一文が長かったが、ペアと相談することにより理解が深まり、自分の意見に自信を持つこともできていたように思う。

③その他

（成果）

○授業者とアンパンマンとのつながりがある写真や、アンパンマンのぬいぐるみ、アンパンマンの絵本、やなせたかしさんの本授業と関わりのある映像を準備し、効果的に活用したことにより、児童の本授業への関心が高まり、本授業の主題に迫ることができたように思う。

○ほとんどの児童が本授業の振り返り作文に、やなせたかしさんへの思いや今後の自分の生き方について考えたことを書いていた。

（課題）

●今後の自分の生活に生かしていこうと思うことについて、授業内で全員の考えを交流することができなかった。

